

学習指導案 略案様式（自立活動）

あおば学級		指導者	木 付 一 音	
題材	題材名等	相手の気持ちを知らう。		
	関連する自立活動の内容	区分	内容	
		人間関係の形成	(2)他者の意図や感情の理解に関すること	
		コミュニケーション	(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること	
	題材目標	・カードと同じ表情をすることでどんな気持ちなのか知ることができるようにする。 (A児) ・カードと同じ表情をすることで、自己認知を深めることができるようにする。 (B児) ・相手の表情を見て、〇〇な言葉がけができるようにする。(C児・D児)		
主な学習活動と指導上の工夫	●相手の表情を見て、その時の気持ちを和らげる言葉かけは何かよいのか考えて声かけができるのか確認する。 ○カードを見て表情を真似てみる。 ○カードを見て悲しかったり悔しかったりしたことを思い出す。			
本時(全1時間)	ねらい	「相手の気持ちを知り言葉がけができる」 カードの表情を真似たり、その時の気持ちを思い出したりして、相手の気持ちを和らげる言葉かけができる。(5年)		
	学習過程	<div><p>「めあて」 「相手はどんな気持ちだろう」 『課題』 「相手の気持ちはどこを見たらわかるのだろうか」</p></div> <div><p>・袋に入ったカードを引いて選ぶ。</p><p>・タブレットを使ってカードの表情をれんしゅうする。</p><p>・表情を撮影して順番で発表する。</p><p>・表情を見て相手はどんな気持ちだったか考え、発表する。</p><p>・本人から気持ちを聞く。</p><p>・そんな時は、どんな言葉が合うか発表する。</p><p>・本人にその言葉が合っていたか聞く。</p></div> <div><p>「まとめ」 相手の顔の表情から気持ちがわかる。 「振り返り」 「悲しかった時にやさしく声をかけてもらってうれしかった。」</p></div>		
	指導・支援と留意点	●学習活動 ○支援		備考(準備物等)
	●相手の表情を理解して、和らげる言葉を考える。 ○自分に置き換えて言葉を考える。 ●タブレットを使用してカードの表情を真似る。 ○カードの表情をわかりやすく説明する。		・表情カード	